

# 生涯研修講座 口腔ケアで合併症率減少

## 大田氏 がん患者を支える医歯連携を

臨床・学術部は、「がん治療を理解して安全に安心に行う歯科治療・口腔ケア」をテーマにした生涯研修講座を1月20日、M&Dホールで開催した。講師は、静岡県立静岡がんセンター歯科口腔外科部長の大田洋二郎氏が務め、会員ら79人が参加した。



がん周術期の口腔ケアの重要性について説明する大田洋二郎氏。1月20日、M&Dホール

2012年度診療報酬改定で新設された周術期口腔機能管理について大田氏は、がん周術期に口腔ケアを実施すること、術後合併症率が7分の1に減少したことを指摘した。口腔ケアをする

や胃がんには効果がなかったという。

抗がん剤治療中の歯科治療は血小板数5万以上、白血球数2千以上、好中球数が1千以上あれば一般の歯科治療ができるが原則として軟組織に優しい処置をする。また、化学療法時の抜歯ガイドラインに触れ、医療連携の問合わせ例として、①処置は観血処置か否か②抗がん剤治療の投与スケジュール③好中球数が1千以下の時期の有無④血小板数は5万を維持しているか⑤抗がん剤、鎮痛剤の服用の可否を紹介した。

口腔合併症は、抗がん

## 丸山衆院議員(維新)と懇談

### 医療充実求める



丸山穂高衆院議員(右)との懇談。1月25日、保険医会館

協会は医療・社会保障要求の実現をめざし、総選挙で当選した地元議員に懇談を要請し、19区選出の丸山穂高議員(維新)と1月25日に保険医会館で懇談した。小澤力理事長、下井戸昭介副理

剤による患者の40%、造血幹細胞移植患者の80%、口腔領域が照射野に入る放射線治療の頭頸部がん患者の100%に口腔粘膜炎症が発症し、がん臨床で発症頻度が高く患

者のQOLを低下させる最も強い有害事象の一つで歯科治療中断、延期させる要因である。

口腔粘膜炎の対処として口腔内清潔保持、口腔内保湿、疼痛コントロール

を紹介した。口腔粘膜炎以外の口腔有害事象についても対処法を述べ、がん患者を支える医科歯科連携を構築する重要性を強調し講演を終了した。

丸山議員は「子どもたちの将来の財政負担を減らしたい。一方で本当に困っている人の負担も減らしたい。財産をどう見るかもある」と協会の要望に一定の理解を示した。「維新八策」(案)で混合診療の完全解禁や軽症患者の自己負担増を示していることに対して、協会が「ケアや事故は自己責任ではない。そういう

## 発達障害への対応を解説

### 北大阪地区

北大阪地区は1月19日、発達障害を持つ患者

### 生活改善を

社会保障を充実させて生活の不安が軽減されれば、消費が活発になり、本格的な景気回復が図られるはずだ。気持ちよく確定申告に臨むためにも、本当に庶民の生活実感を改善する政策を安倍政権には望むものです。

協会では、安心して医療機関にかかれるように窓口負担軽減署名、TPP反対運動、改憲を許さず社会保障を充実させる運動、原発ゼロの運動への協力を引き続き協会の皆様にお願ひします。

発達障害児が抱える大きな問題の一つに、二次的障害がある。家庭や学校で叱られ続けることで自尊心が低下し、非行や反社会的行動などの要因になる。好ましい行動はほめ、好ましくない行動は具体的に指摘するなど、児童への支援や保護者の対応が必要だ。

歯科医療現場では注意欠陥多動性障害(ADHD)に困ることが多いという。ADHD患者は、診療室でイスをくるくる回したり、じっとしていられなかったり、予定外のことやパニックを起こす。どんな治療をするのかを書いて説明する「事前通告」が大切と述べ、発達障害を理解し、発達障害の患者であっても治療を受けられるよう対応してほしいと締めくくった。

## 2012年分確定申告にあたって

# 国民所得増やす政策を望む

### 経税部長 冨本 昌之

今年も確定申告の時期がやって来りました。長引く不況や進まない震災復興など、日本の状況はさらに悪化しているように感じます。昨年の総選挙では、あきらめを感じた国民も多く、史上最低の投票率で政権交代は行われませんでした。

## 大盤振る舞い

安倍首相は、大胆な金融政策、機動的な財政出

動、民間投資を喚起する成長戦略の3本の矢を中心とする経済政策(いわゆるアベノミクス)を打ち出しましたが、際限のない国債発行による無駄

な巨大公共事業や大企業減税など、大盤振る舞い

社会を反映

歯科医院を受診する患者は社会の実態を反映しています。我われは、「この患者さんは一度に

増えています。TPPに加盟して皆保険制度が形骸化すれば、健康保険すらなくなって患者になれない人が激増します。患者が受診してくれて

は、大多数の国民の所得を増やす政策として、①正規雇用を増やす②消費税は上げない③応能負担の原則に沿った増税

への対応についての講習会を豊中市内で開き、17人が参加した。講師は清水聖保氏(東淀川区、清水クリニック院長)。

清水氏は、発達障害の分類を紹介し、特に軽度発達障害への対応の遅れが問題を大きくすると説明した。企業の人事担当者から寄せられた相談事例として、何度注意しても誤字・脱字を繰り返す同じ間違いを起こす社員のことを挙げ、「私たちに100%見えるものが、どうがはって80%しか見えない。本人の努力の問題ではない」と指摘。配置転換で人並み以上の能力を発揮する場合も多く、適正を活かすことが重要と話した。

## 転職・就職活動をお手伝いします!!

ヒューマンリソース

# ハーモニック

和田精密歯研(株)グループ



- ◎ホームページ <http://harmonic-net.co.jp>
- ◎e-mail [info@harmonic-net.co.jp](mailto:info@harmonic-net.co.jp)
- ◎フリーコール 0800-111-4510 (イー・じこと)

まずはお気軽にご相談下さい。(相談無料)

## 歯科医師

## 歯科衛生士

弊社では関西圏に登録医院300件以上の実績がございます。信頼のおけるエージェントがあなたに合った歯科医院をお探し致します。

## お申し込み～勤務まで

STEP1 弊社エージェントとの面談(求職本登録の完了)

ご希望をお伺いし、求人票を提示いたします。

STEP2 面接・見学(希望求人先とのマッチング)

エージェントが同行いたしますので安心下さい。

STEP3 体験アルバイト実施(ご希望の方を対象とします)

体験アルバイトについては、給与+交通費が支給されます。

STEP4 採用(ハーモニックからのご連絡)

不成立の場合は、新しい求人先をご紹介します。

「クリック」

ハーモニックネット

検索

求職登録  
就職まで  
0円